



定例町議会で町政方針を述べる佐藤多一町長

町政方針 あいさつをしあう町に・・・2年目

平成20年度予算は、3月10日から始まった定例町議会で審議が行われました。冒頭、佐藤町長から平成20年度予算提案に当たり町政方針が示されましたので、その一部を紹介します。（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）

歩いて暮らせる まちづくりの推進

多くの地方自治体は、依然地方交付税に頼らざるを得ない状況ですが、本町は人件費の削減、補助金等の削減、使用料、手数料の値上げなどを行い、厳しい財政状況に対応してきたところです。

平成20年度の地方交付税は、「地方再生対策費」が創設され5年ぶりに増額となりましたが、一過性のものであるとの懸念

も抱えています。

今年度も、行財政改革を推進していきますが、一方において、「住生活基本計画」など様々な新たな計画を立てる年とも位置づけており、これらの計画は平成22年度から始まる「第5次長期総合計画」とも関連付けながら、先駆けて実行に移すよう考えているところであります。今年度も町民の皆さんと対話を進めながら、人口減少社会に対応する「歩いて暮らせるまちづくり」を基本に町政を推進していきたいと考えています。

自主・自立まちづくりと 第5次長期総合計画

自主・自立まちづくり推進計画は、平成21年度を最終年次とし、今年度の実施方針を確立したところです。目標は、「自分たちの地域を自分たちの手で」を実現することであり、町民の皆さまと行政が共に少子高齢化する地域の再生を目指し、具体的な行動を行う内容になっていきます。

津別町第5次長期総合計画は、本町の最上位計画として策定しま



昨年行われた魅力発見ツアーでは遊休施設の活用について話しわれました（旧Kニット工場内）

す。町を取り巻く様々な環境を的確に分析し、「選択と集中そして均衡」を基本に津別町の10年後の映像を描き、この実現に向けた行動計画を作り上げようとするもので、町民、議会、行政のほか、外からの目も加えながら個性的でかつ自律的な計画の策定を行っていきます。

高齢化に向けて まち中居住の推進が有効

本町の少子化・高齢化が進む中、これらの対策は一朝一夕にはできないため今から準備に入る必要があります。特に老人世帯が増加する中、お年寄りが生きがいを持ち生活不安を感じない町づくりを行うためには、まち中居住を推進することが有効と考えます。町の形がコンパクトであればそれでいい

行財政改革の点検・推進 と情報公開を推進します

このため、老朽化施設や遊休施設の活用方法につきまして、住宅政策と関連付けながら計画作りを行っていきます。

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」は、平成19年度決算から指標の公表を行い、平成20年度決算において健全化判断比率のうちいづれかが早期健全化基準以上となった場合、財政健全化計画を定め自主的な改善努力が義務付けられ、さらに健全化が困難なときは国の関与を受けることとされました。

本町は、平成19年度の財政状況を見る限り指標に達することはありませんが、これに安堵することなく日常的に行財政改革を点検・推進するとともに、財政の透明性を確保するため積極的な情報公開を進めていきます。

また、現行の係を基本とした機構から柔軟で機動的な職員配置を可能にするグループ制度を、町民の皆さんに混乱が起きないように、4月より導入を進めていきます。

【総務費】

- 職員研修経費 164万円
姉妹都市の南アルプス市との職員人事交流を行う経費。
- ふるさと定住促進事業 1,000万円
定住人口の拡大を目指し、町内に住宅を建設した場合、150万円まで助成する。地元産の木材を使用すれば30万円上乗せ支給する。
- 町民の森自然公園管理業務 140万円
町民の森自然公園のクリン草群生地周辺の整備を行う。



多くの町民で賑わうクリンソウまつり

【民生費】

- 保育所屋根防水補修工事請負費 1,170万円
津別、本岐、活汲保育所の屋根防水補修工事を行う。
- 共和集会施設管理経費 142万円
生きがいセンターの陶芸用電気炉が壊れたため購入する。



屋根防水補修工事が行われる各保育所

【衛生費】

- 地域医療維持助成事業 5,000万円
住民の健康を守る地域医療の維持と確保を目的に津別病院へ助成する。
- し尿収集委託業務 1,298万円
20年度からし尿収集経費にタンク購入経費を上乗せして支出する。
- ごみ焼却炉施設整備事業 523万円
焼却炉の改修と耐火物補修工事を実施する。



地域医療の拠点である津別病院

平成20年度の主な事業をお知らせします



外壁改修を行うシャーレーイーストタウン

【農林業費】

- 地域連携システム整備事業 84万円
グリーンツーリズムを推進する事業で修学旅行を誘致する。
- 地域バイオマス利活用交付金事業 559万円
堆肥化微生物動向調査・木質バイオマス製造施設設計仕様委託を実施。



津別高校のバス通学費や教科書の補助

【土木費】

- 町営住宅整備事業 3,211万円
町営住宅の窓サッシ改修工事、屋根塗装工事、外壁改修工事、火災報知器設置工事。
- 町道整備事業 3,528万円（工事請負費3200万円：委託料328万円）
町道147号線、町道68号線の改良舗装工事。町道109号線の舗装工事。耐震化に合わせて橋梁長寿命化点検業務を実施。

【教育費】

- 津別高校振興対策事業 2,511万円
津別高校の二間口を維持し地元高校存続のための振興対策として、バス通学費や教科書の補助を行う。
- チャシ測量・試掘事業 600万円
共和21世紀の森にあるチャシの測量と試掘を行う。
- ファミリースキー場施設整備事業 1,214万円
共和ファミリースキー場のロープ塔設置工事を行う。
- トレーニングセンター整備事業 598万円
トレーニングセンターアリーナの塗装と照明改修工事を行う。



ロープ塔が整備されるファミリースキー場